

小山小学校の教育についてのアンケート結果の報告

◆ 保護者アンケート

2学期末に、保護者の皆様には学校の教育に対するアンケートにご回答いただき、ありがとうございました。いただいた結果の傾向が分かるように、グラフに表しました。また、自由記述としてお寄せいただきましたご意見に対しても、学校内で会議を通して共有したうえで、今後の教育活動に生かしてまいりたいと思います。ご協力ありがとうございました。

〈質問事項〉

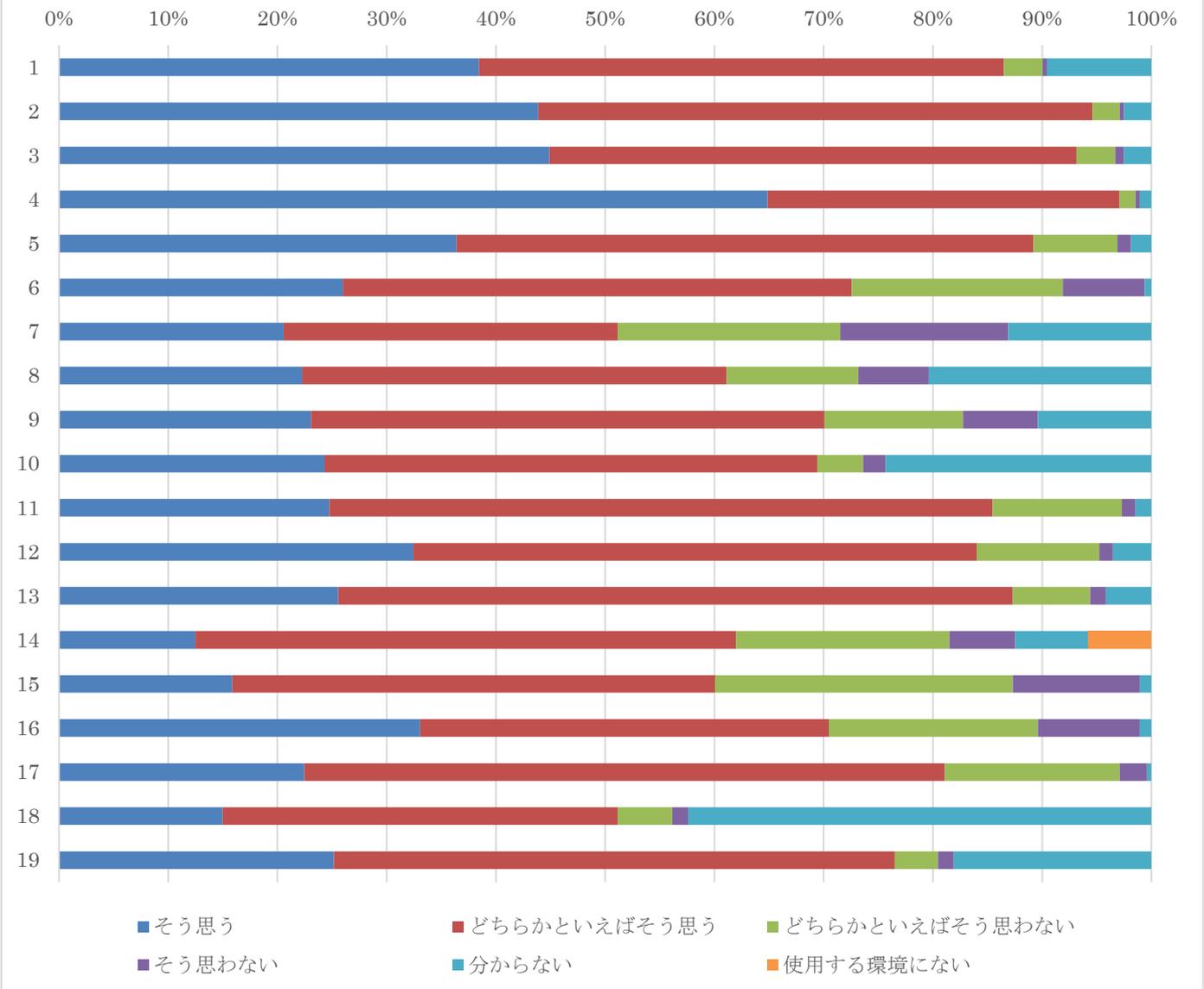
I	お子様の様子、学校の現状などからご回答ください。
1	学校は、地域人材を積極的に活用した教育活動を行っている。
2	学校は、保護者や地域と一体となって子どもたちを育てている。
3	学校は、保護者や地域の方に対して情報発信をしている。
4	学校は、保護者会や学校公開、学校行事などで、教育活動を公開している。
5	お子様は、各教科の基礎的・基本的なことがらが身に付いてきている。
6	お子様は、宿題や家庭学習に積極的に取り組んでいる。
7	お子様は、学校ですすんで読書をしている。
8	お子様は、外国語学習に楽しく取り組んでいる。
9	お子様は、ICT（学習機器）を積極的に活用している。
10	学校は、いじめ防止や体罰防止に取り組み、子どもの人権を大切にしている。
11	お子様は、学校のきまりや家庭でのきまりを守っている。
12	お子様は、あいさつをきちんとしている。
13	お子様は、交通事故防止や不審者対応などの安全知識が身に付いている。
14	お子様は、ICT（学習機器）、スマートフォンなどによるネットマナーが身に付いている。
15	お子様は、ICT（学習機器）やスマートフォン、ゲーム機器などを使用する際、家庭で決めたままりや使用時間を守っている。
16	お子様は、日常的に、運動やスポーツ（遊びを含む）に積極的に取り組んでいる。
17	お子様は、食に関する知識や望ましい食習慣、生活習慣が身に付いている。
II	保護者の方が感じている学校の現状等について、ご回答ください。
18	学校は、小山中学校と連携して教育活動に取り組んでいる。
19	学校は、校内整備や校内美化に取り組んでいる。

《回答の要領》

1～19について、下記の規準をもとに、該当する回答欄にお答えください。

A	質問に対して、そう思う
B	// どちらかといえば、そう思う
C	// どちらかといえば、そう思わない
D	// そう思わない
E	// 分からない
F	// 使用する環境にない（質問Ⅰ－8、13、14のみ）

保護者向けアンケート「共通の評価項目」集計結果グラフ



《考察および改善点》

保護者アンケートは、児童一人に対してご回答いただきました。実施調査2023年11月24日時点で481件のご回答がありました。回答率は、67%です。

本アンケートでは、18項目中9項目で「(どちらかといえば) そう思う」と80%以上の回答を得ることができている一方、「わからない」との回答が多かった項目は、10「学校は、いじめ防止や体罰防止に取り組み、子どもの人権を大切にしている」17「学校は小山中学校と連携して教育活動に取り組んでいる」の項目でした。いじめ防止の取り組み(こころのアンケート)や中学校と連携した教育活動(リトルティーチャーや小山中の先生による出張授業)など情報を積極的に発信する必要があると感じました。

項目4「学校は、保護者会や学校公開、学校行事などで、教育活動を公開している」では、95%以上の保護者の皆様に「(どちらかといえば) そう思う」という回答をいただきました。今後も、メール配信だけでなく「お互いの顔が見える温かな関係」をめざして、保護者会や学校公開、学校行事などの教育活動を行っていききたいと思います。

「(どちらかといえば) そう思わない」という評価がほかの項目に比べて高かったのは、7「お子様は、学校ですすんで読書をしている」15「お子様は、ICT(学習機器)やスマートフォン、ゲーム機器などを使用する際、家庭で決めたまじりや使用時間を守っている」でした。読書については、学校では週に4日朝読書に取り組んでいます。ご家庭でも、スマホやゲームを置いて、家族全員で本を読む時間を設けてみてはいかがでしょうか。ICT 機器やゲームに関するアンケート調査へのご協力ありがとうございました。度を越えた長時間使用の実態が一部で見られました。学校と家庭(PTA)が連携して取り組んでいく必要性を感じます。次年度は、その効果が見られるような具体的な方策に取り組んでいきますので、是非ともご協力をお願いします。

本アンケートの結果を教員内で共有し、次年度の教育活動の向上や改善に結びつけていきます。教員一同、今後より一層努力してまいります。

保護者アンケートに加えて、11月に児童の学校生活に関するアンケートも実施いたしました。質問内容のおおよそは保護者アンケートと対応しております。こちら、集計結果の傾向が分かるように、グラフに表しました。これらの結果を保護者アンケートと合わせて分析し、来年度からの教育活動に生かしてまいりたいと思います。

〈質問事項〉

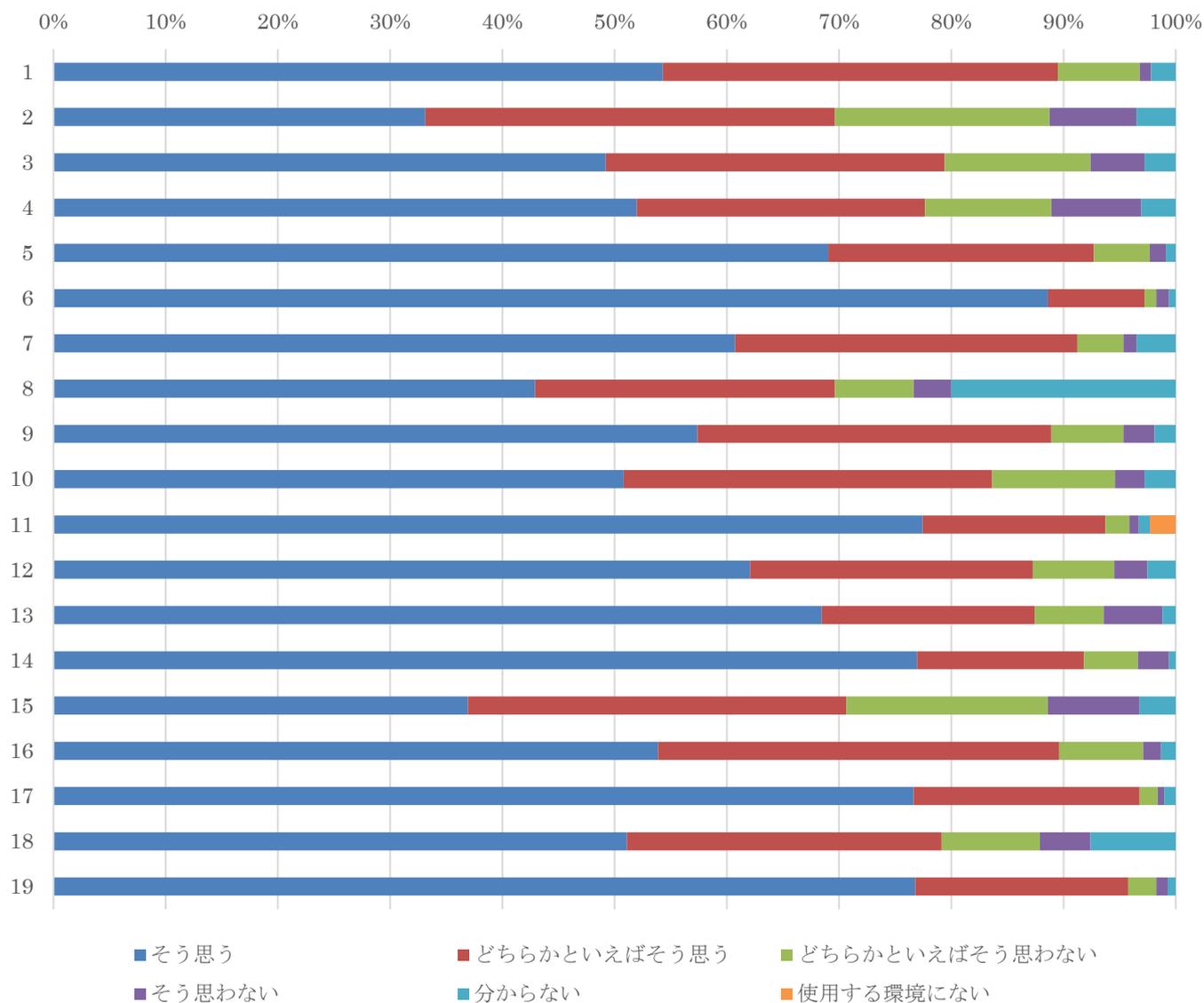
1	あなたは、 <small>いま</small> 、 <small>がくしゅう</small> していることがだいたいわかっていますか。
2	あなたは、 <small>おも</small> ったことを発表したり、わからないことを質問したり、できますか。
3	あなたは、 <small>しゅくたい</small> や家での学習に <small>すす</small> んで取り組んでいますか。
4	あなたは、 <small>ほん</small> を読むのが好きですか。
5	あなたは、 <small>がっこう</small> で楽しく <small>すご</small> していますか。
6	あなたは、 <small>なか</small> のよい友だちがいますか。
7	あなたは、どの <small>ともだち</small> にもやさしくしていますか。
8	あなたは、 <small>えいご</small> 学習に <small>たの</small> しく取り組んでいますか。
9	あなたは、 <small>がっこう</small> のきまりやおうちの人との約束を守っていますか。
10	あなたは、 <small>せんせい</small> や友達、 <small>ちいき</small> の人に自分からあいさつをしていますか。
11	あなたは、 <small>あんぜん</small> に <small>き</small> をつけて登下校していますか。
12	あなたは、 <small>パソコン</small> 、 <small>けいたいでんわ</small> 、 <small>スマートフォン</small> 、 <small>ゲーム機器</small> などを、おうちの人との約束を守って使っていますか。
13	あなたは、 <small>そと</small> で遊んだり、 <small>うんどう</small> したりするのが好きですか。
14	あなたは、 <small>あさ</small> ごはんをしっかりと食 <small>た</small> べていますか。
15	あなたは、 <small>はや</small> ね早起きができていますか。
16	あなたは、 <small>そうじ</small> を時間いっぱい取り組んでいますか。
17	あなたは、 <small>がっこう</small> のものを大切につかっていますか。
18	クラスの中でおすすめの本を <small>しょうかい</small> する時間や、みんなで読書をする時間がありますか。
19	(1～4年)あなたは、たてわり活動で、5・6年生の話 <small>はなし</small> をしっかりと聞いて取り組んでいますか。 (5・6年だけ)あなたは、たてわり活動や委員会活動、クラブ活動に進んで取り組んでいますか。

《記入の要領》

1～19について、次の規準をもとに、回答欄の数字に○をつけてください。

1	質問に対して、とてもそう思う・よくあてはまる
2	// そう思う・だいたいあてはまる
3	// あまり思わない・あまりあてはまらない
4	// 全く思わない・あてはまらない
5	// 分からない
6	// 使っていない(質問12のみ)

児童向けアンケート「共通の評価項目」集計結果グラフ



《考察及び改善点》

児童アンケートは、1年生から6年生まで全員を対象に11月に学校で実施しました。

グラフの数値を見ると、12の項目で「(どちらかといえば)そう思う」と回答した児童が80%を超えており、高い数値を示しています。項目6「あなたは、仲のよい友だちがいますか。」に関しては、95%以上の児童が「(どちらかといえば)そう思う」と回答し、多くの児童が友達関係をしっかりと築けていることが分かります。また、項目11「あなたは、安全に気をつけて登校していますか。」に関しても、高い数値になっています。一方、登下校中の交通事故も起きており、この数値を100%に近づけていく必要性を感じます。

一方で、項目2「あなたは、思ったことを発表したり、分からないことを質問したりできますか」では、「(どちらかといえば)そう思う」と答えている児童の割合が、約70%となっています。ここ数年の小山小の課題といえる部分です。しかし、昨年度より5%ほど上がっており校内研究の取り組みが少しずつ芽を出してきているように感じます。項目15「あなたは、早ね早起きができていますか」も他の項目と比べて、「(どちらかといえば)そう思う」と答えている児童の割合が低い傾向があります。ICTの活用の低年齢化がすすんでおり、ICT機器を使って夜更かしをしている児童が学年に関わらず一定数いるようです。ICTの使用時間についても指導をしていく必要性を感じます。

本アンケートの結果を教員内で共有し、次年度の教育活動の向上や改善に結びつけていきます。教員一同、今後より一層努力してまいります。